実録・AI 同人作家の女装ハッテン記録



＜著者近影＞

同人サークル「ラッカパートゥ」の名義で AI 生成を使った画像、動画、音声作品を制作する。主な作品として、「女装メス堕ちして男の人と SEX できるようになりたい人が見るサブリミナル動画」「尊厳破壊罵倒されて完全メス堕ちしたい人が見るサブリミナル動画」「チクニー誘導されてメス堕ち乳首アクメしたい人が見るサブリミナル動画」等。また、ゲーム作品も制作しており「新説・桃太郎物語-きび団子で全員俺の家来」をリリース。

目次

1. はじめに

2. 女装用衣装の購入

3. 楽しい女装散歩

4. 初めてのハッテン

5. ハグをしたがる男性（体験版未収録）

6. おじさんとラブホテルで（体験版未収録）

7. 乳首好きの M 男君とアパートで（体験版未収録）

8. ハッテン映画館にて（体験版未収録）

9. 女装のペニスをしゃぶりたい反社君（体験版未収録）

10. アナセで絶頂（体験版未収録）

11. 狂ってしまった性癖と人生（体験版未収録）

12. よくある質問と答え-あとがきに代えて（体験版未収録）

1. はじめに

読者のみなさん、こんにちは。私は「ラッカパートゥ」というサークル名義で、生成 AI を使って成人向け同人作品を作っています。作品は主に可愛い男子（男の娘）が女装して男性と性行為を行うもので、いわゆる「メス堕ち」をテーマとしたものです。AI を使って作った画像と音声を組み合わせてメス堕ちを誘導する催眠系の動画作品（シシーヒプノと呼ばれるジャンル）もいくつか制作しました。

こういったメス堕ち作品を作る中で、私は自分自身、男性と性行為をしてみたいという願望を持つようになりました。最初は家の中で女装してオナニーをするくらいで満足していましたが、次第に性癖がエスカレートしてしまい、ついには女の子の格好をして男の人と実際に会って性行為をしてしまいました。そして、現在進行形でそうした男性との性行為、すなわちハッテン行為を繰り返しています。

この小説は今まで私が実際に女装して男の人とした行為の内容を記録したものです。なお、自分自身の身バレのリスクは回避したいですし、相手の男の人のプライバシーにも配慮する必要があるので、場所や固有名詞は適宜ぼかしていますが内容は全て事実に基づいたノンフィクションです。もちろん信じるか信じないかは読者のみなさんの判断に委ねますが。

2. 女装用衣装の購入

まず、男の人とハッテン行為をするに至るまでに私がしたことを書きます。最初、私は家の中でだけ女装を楽しんでいました。女装のための衣装は基本的に全てネットで購入しました。以下に、私が購入したことのある女装用衣装を全て記載します。

①女性用ショーツ　6 枚

デザインは様々ですが、リボンやフリルのついている女の子っぽいものが好みです。Tバックはあまり好きではないので 1 枚しか持っていません。

②女性用ブラ　2 着

ショーツとセットになっているもの（紐ブラ）が 1 つと、別で購入したカップ付きのオーソドックスなタイプのものが 1 つです。後述しますが、私は乳首をいじるのが好きなのでハッテンの際はノーブラのことが多いです。そのためブラはあまり買いませんでした。ただ、女装して外出するときに周りから見ると胸が膨らんでいないと不自然なので、それ用にカップ付きのブラは買いました。

③ストッキング　5 着

黒ストッキングが 4 着と、他の衣装とセットでついてきた白ストッキングが 1 着です。腰回りまで覆う、いわゆるパンストタイプではなく全て腿までのタイプで、フリルがついたセクシーなデザインのものが多いです。

④ガーターベルト　1つ

黒ストッキングと合わせる目的で購入しました。腿までのタイプのストッキングは履いて歩いているとずり下がってくることが多いのでそれを防止する目的でしたが、安物を買ってしまったため付け外しがしにくく、すぐに金具が壊れてしまったこともあってあまり使いませんでした。

⑤ニーハイソックス　2足

黒と白の2種がセットになったもので、膝上までの長さです。上のほうに3本ラインが入ったデザインです。

⑥ルーズソックス　1足

結構太めのを選びました。私は靴下フェチでもあり、このルーズソックスはたくさん連履きしたのでかなりボロボロになっています。

⑦網タイツ　1足

網目が大きいセクシーなデザインの網タイツです。ガーターベルトと一体になったデザインで、ずり下がる心配がないので結構使いました。

⑧紐ビキニ（同じデザインのニーハイとセット）　1式

水色と白の縞々の紐ブラと紐パンで、同じく縞々のニーハイソックスがセットになっています。私の同人作品の「『チクニー誘導されてメス堕ち乳首アクメしたい人が見るサブリミナル動画』を見て人生が狂いました。」の最後の場面で主人公が身につけている衣装はこの紐ビキニのデザインを参考にしています。

⑨膝丈スカート　1着

紺色の大人っぽいデザインのスカートで、膝丈の長さです。外出時、あまり目立ちたくないときに履いています。

⑩マイクロミニ　1着

普通に立っているだけでパンツが見えるくらい短いミニスカートです。ピンクと水色のチェック柄の派手なデザインで、人前では普通履けないものなので、主に深夜のハッテン場でだけ着用します。

⑪女性用カットソーその他の上着　3着

女性のシャツなど上着です。まだ人通りのある時間帯に女装で外出するときなど、あまり目立ちたくないときに着用しました。

⑫ヘソ出しニットセーター　1着

薄茶色の長袖のニットセーターですが、丈が短くヘソ出しのデザインです。適度に薄くて柔らかい素材の感触が好きで、よく着用しています。これを着た状態で服の上から乳首をいじるとすごく気持ち良いです。デザインがかなりセクシーなので、このまま外に出るのは難しいですが、この上から男物のジャケットやコートを羽織ったりして外出することがよくあります。

⑬デニムスカート　1着

膝上丈のデニム生地のスカートです。シンプルなデザインなのでよく着用しています。

⑭セーラー服　1式

コスプレ用のセーラー服です。もちろん普段は着れないのでハッテン場で着替えて使います。

⑮体操服とブルマ　1式

白の薄手の体操用 T シャツと紺色のブルマのコスプレ用セットです。当然このまま外に出ることはできないので、着るときは上にジャージなどを履いてハッテン場に着いたら脱ぐという感じで使っています。

⑯地雷系ワンピース　1着

フリルがついたいわゆる地雷系のワンピースです。丈は短いので外で着るにはかなり勇気が要りますがデザインは可愛いです。

⑰シスター服　1式

シスターが着るような黒白の修道服をモチーフにしていますが、下半身はハイレグになっていて、ふんどしのような前垂れでカバーするようなデザインです。頭にかぶる頭巾がセットになっています。これはサイズが合っておらず、かなりキツキツなのであまり着ていません。

⑱女性用パンプス　1足

外出時に履くために買いました。黒っぽいシンプルなデザインのパンプスで、ヒールは低めのものです。なお、カジュアルな服装の女装をするときはこのパンプ

スではなく普段履いている白のスニーカーを履くこともあります。

⑲ウィッグ　3つ

ストレートのロング（赤みのある茶髪)、ボブ（茶髪)、ミディアムロング（ピンク色）の3種類です。ボブのものを気に入ってよく使っています。上記の「『チクニー誘導されてメス堕ち乳首アクメしたい人が見るサブリミナル動画』を見て人生が狂いました。」の主人公の髪型に近いです。

⑳女性用ハンドバッグ　1つ

外出時、鍵やお金などを入れておくために必要だったので買いました。白色で小さめのサイズのハンドバッグです。

上記の衣装は全てネット通販の Am○zon で購入しました。私は一人暮らしで、家に女装用の衣装が配送されてきても問題ないのでかなり気軽に利用しています。上記の衣装のほか、女装メイク用の化粧品、アナル開発用のアナルバイブ、ローター、ディルド、ローションなどもネット通販を利用して調達しました。

衣装の購入に関しては Am○zon のほか、メ○カリも利用しました。メ○カリでは大きくなって着られなくなった子供服をセットで販売している人がいるので

すが、女児服の女装にハマったときにそうしたセット販売で小学 5〜6 年生の女の子が使用していた服を買ったことがあります。私はかなり痩せ型で、そのくらいの年齢の子供服であれば着用できるので、安く調達できるそうしたセット販売はありがたかったです。



3. 楽しい女装散歩

このように女装用の衣装を買い集めて家での女装オナニーを楽しんでいた私でしたが、次第に家の中だけでは満足できなくなり、女装して外出するようになりました。最初は深夜の時間帯にミニスカを履いて外を散歩したり、公園のトイレでオナニーをしたりする行為を楽しんでいました。最初は女装して家を出るだけでドキドキしましたが、だんだん慣れてくると女の子になった自分の姿を他の人に見られたいという気持ちが出てきました。深夜の車道沿いに立ってミニスカをまくり上げて通行中の車に見せつけたり、まだ人通りのある時間帯にミニスカを履いて外出し、信号待ちのときにわざと屈んでパンチラをしたりといったこともしました。

そうした行為を繰り返すうち、私はかなり気軽に女の子の格好で外を出歩くことができるようになりました。その頃にはメイクの解説動画を見たりして化粧の腕前もそれなりに上がりましたし、光脱毛器（Ul◯ke というメーカーのものを愛用）で髭やムダ毛の処理もするようになったため、明るい時間帯に外に出る自信がつきました。私は昼間も女装して外出し、近所の公園を散歩したり、わざと人の多いショッピングモールに出かけたりもしました。



4. 初めてのハッテン

女装した自分の姿を人前に晒す行為は私を興奮させました。しかし、そうした行為にも段々と慣れが出てきました。意外と人間は自分と関係のない他の人間に関心を持っておらず、女装した私がいてもほとんどの人は私に注意を向けないということもわかりました。私には段々とそれが物足りなく感じてきました。

そこで、私はついに女装して男の人と会ってみることにしました。

ここで、念のために私の性自認と性的指向について書いておきますが、私は性同一性障害などではなく自分自身が男性であることに特に違和感を持っていません。ただ、性的指向については元々バイセクシャルの傾向があったようです。たとえば、小学生の頃、私はクラスメートのある女の子のことが好きでした。しかし、それとは別に同じクラスのある男子とホモセクシャルに発展しかねない関係も持っていました。小学 5 年生の頃でしたが、私はその男子（仮に山本君とします）が私の家に遊びに来たとき、布団の中で「セックスごっこ」をしたことがあります。2 人とも性に興味を持ち始めた年頃で、「セックス」という言葉と、そのぼんやりとした意味がわかりかけていた時期でした。私たちは男性と女性がするセックスの真似事を男同士でしてみようと思ったのです。行為の内容としては二人で布団の中にもぐり込んで抱き合い、キスをするというものでした。2 人とも服を着たままでしたし、互いの性器に直接触れたりはしませんでした。山本

君とする、その「セックスごっこ」に、私は特に嫌悪感を持ちませんでした。むしろ胸がドキドキし、興奮してしまう感覚があったことを覚えています。記憶では、山本君と「セックスごっこ」をしたのは１回だけでした。そうした行為を１回した後、お互いに少し気まずくなってしまい、家で遊ばなくなりましたが、どちらかがもう少し積極的だったとしたら私たちは本当にホモセクシャルな関係になっていたかもしれません。

話がそれてしまいましたが、そういう元々の性的指向もあったので、女装して男の人と実際に会ってみるということに自分の中にそれほどの心理的抵抗感はありませんでした。さらに、元々メス堕ち系の作品を作る際の取材の意味合いで、私はいわゆるハッテン系の掲示板をよく覗いていました。いわゆる女装子（＝ジョソコ）の人がハッテン相手を探すときに利用する掲示板の存在も知っていました。そこで、私は自分もその掲示板を使って男の人と会ってみようと考えました。

この小説を読んでいる人はすでに知っているかもしれませんが、私が使ったのは爆〇イという掲示板です。この掲示板は地域（都道府県）ごとに分かれた板でスレッドを建てることができます。私は自分の住んでいる地域の「女装子・ニューハーフ総合」という板のスレッドを利用しました。ほかに「女装ハッテン」という板もあるのですが、そちらは女装子が男の人とセックスをするために使う

専用板という性格が強かったため利用を躊躇しました。そのとき、私としては「女装した自分の姿を男の人に見てほしい」という気持ちがありましたが、明確に「男の人とセックスしたい」とまでは思っていませんでした。まだアナル開発も済んでいなかったので、現実問題として男の人からセックスを求められても困るという気持ちもありました。

それに対して「女装子・ニューハーフ総合」の板はセックスに至らない行為、たとえばちょっとした触り合い、女装子に対する一方的な痴漢行為、女装子によるパンチラ見せ、相互のオナニー見せ合いといった「セックス未満」の行為の募集スレッドが目立ちました。そこで、私は「女装子・ニューハーフ総合」のほうを利用して男の人と会ってみることにしたのです。

スレッドを物色すると、私が住んでいる場所からさほど遠くないところにある公園で待ち合わせをする目的のものがありました。「〇〇公園女装お散歩」といったスレタイがついていたと記憶しています。その公園は何度か女装して行ったことがありました。私は車を持っておらず、あまり遠いところまで女装した状態で出かけるのが難しかったため、その公園で男の人と会えればちょうど良いと考えました。私はそのスレッドに以下のような書込みをしました。

「女装です。オナ見せ合い、触り合いなどできる方お願いします。お尻は使えません。」

私が書き込んだ数分後に返信の書込みがありました。それも 2、3 人から。私のプロフィール（身長・体重・年齢、ウィッグ化粧有のいわゆる完全女装かどうか等）について質問したり、フェラチオは可能かどうかを尋ねたりする内容でした。私はプロフィールについては多少ぼかして「痩せ型で完女」とだけ返信しました。完女とは完全女装の略語です。フェラチオについては正直その時点ではそこまで考えていなかったのですが、口でするくらいはできると思いましたので「フェラは慣れてませんができます」と書きました。

数人とのやりとりがあり、その中から当日中に一番早く会える人と待ち合わせをしました。ちなみにその日は平日で、その人とは午後の 15 時頃に、公園のトイレ付近で待ち合わせをしました。その公園は小さな野球グラウンドのある公園で、休日は草野球の練習などでそれなりに賑わうのですが平日はほとんど人が来ません。まだ明るい時間帯でしたが、女装して人と会うのに特に問題はない場所と思われました。待ち合わせをした男の人は「50 代で痴漢がしたい」といったことを書いていました。

約束の時間に間に合うように家で支度をして公園に徒歩で向かいました。すでに女装での外出には慣れていたので女装での外出自体には特に緊張しませんでしたが、女装して男の人と会うというのは初めてでしたのでやはりいつもよりもドキドキしました。服装は昼間に出歩いても違和感がないような普通っぽい

スカートと上着に女性用のショーツとブラ、そしてボブのウィッグです。

待ち合わせ場所には私のほうが先に着きました。案の定、公園のグラウンドには誰もいません。公園のトイレの前でしばらく待ちましたが相手の人が来なかったので、トイレのわきにある遊歩道を散歩していると、私が来たトイレのほうの道から男の人が歩いてきました。年配の痩せ型の男性で、スウェット姿、眼鏡をかけてマスクをしていました。手にはスマホを持っており、時折それに目を落としています。そして、道で立ち止まっている私のほうをちらっと見て、ゆっくりと近づいてきました。私は立ち止まったまま彼が近づいて来るのを見ていました。

私のすぐ近くまで来た男の人は、私の顔を覗き込んだ後、何も言わずに私のスカートの上から股間を撫でました。私は少しびっくりして腰を引きましたが、その行為でその男の人が間違いなく待ち合わせの相手だということがわかりましたので、笑って「こんにちは」と言いました。男の人は辺りをキョロキョロしながら、「どこでする？」と私に聞きました。

すぐにトイレに行くということも考えられましたが、公園の中に人通りは全くありません。すぐ近くにボロボロの東屋があったので、私は何となくそっちの方向に向かい、男の人も私の後についてきました。東屋のベンチに腰掛けると、男の人も隣に座り、何も言わずにスカートから出ている私の太腿に手を置いて撫

で始めました。男の人の手の平はざらざらして乾いた感触でした。私はしばらく何も言わずに太腿を触られていました。思っていたよりも展開が早く、若干思考停止のような感じになっていました。

男の人はしばらく私の太腿を触っていましたが、やがて手をスカートの中にまで伸ばすとショーツの上から私の股間を触ってきました。私のペニスはショーツの中で固くなっていました。男の人は「結構大きいんだね」と言いました。私はその時、ちらりと男の人の顔を見ました。改めて見ると、普通に会社で管理職とかやってそうな年配の男性でした。その人は私のペニスの形に沿ってしごくようにショーツの上から手を動かしていました。そして、「俺のも触って」と私の耳元で言いました。

私は彼の股間に手を伸ばしました。少しツルツルした素材のスウェットパンツ越しに男の人の股間をさすると、それはすでに衣服の中で固くなっていました。私が触っていると男の人の息がだんだん荒くなっていきました。私も男の人にペニスをしごかれて声が出そうになりました。

「アナル見せて」男の人はそう言うと私を立たせました。私はベンチの前の木のテーブルに手をついてスカートを履いたお尻を男の人のほうに突き出しました。ちょうど男の人の顔の前に私のお尻が来る位置でした。男の人はスカートをまくり上げました。私はレースの飾りがついた黒いフルバックのショーツを履い

ていました。男の人はそのショーツ越しに私のアナルを指でいじりました。私はくすぐったさを感じて腰を動かしました。

やがて男の人は私のショーツを下ろしました。ぶるんと私の勃起したペニスが飛び出てきました。ビンビンに固くなったペニスは小刻みに震えています。私は真昼の公園で女の子の格好をしながらショーツを下ろされ、ペニスを露出していました。誰かが来て見られたらどうしよう。しかし、興奮が勝り、男の人のされるがままになっていました。男の人は私のお尻に顔を近づけると、私のアナルを舐め始めました。

男の人の温かい、湿り気を帯びた舌先がアナルに当たって、私の体はびくんと震えました。男の人の息も肛門に感じました。男の人はしばらく私のアナルを舐めていました。「アナル使える？」と男の人は後ろから私に尋ねました。スレッドにも書いた通り、その時、私はまだアナルを使えなかったので「使えません」と答えました。すると、男の人はアナルから顔を離してベンチから立ち上がりました。私は足首のところまで落ちたショーツを引き上げてスカートを整えました。男の人は私に「トイレ行こう」と言いました。私は黙って彼に従って、公園のトイレについて行きました。その公園には多目的トイレがついていなかったので私たちは他に誰もいないことを確認して男子トイレの個室に入り、中から鍵を下ろしました。狭い個室で向かい合うと、男の人はまたショーツの上から私の股

間を触り始めました。私も身をくねらせながら男の人の股間を触りました。

「直接触って」

男の人はそう言うと、スウェットとパンツをずり下げてペニスを出しました。ペニスはあまり大きくありませんでしたが、包皮は剥けており、固く張り詰めていました。私は向かい合わせに立ったまま男の人のモノを手で握ってしごきました。しばらくしごいているうちに、私はどうしようもなく興奮してきて、まるで自分が淫乱な女の子になっているような気分になってしまいました。それで、私は狭い個室の中で立っている男の人の足元にひざまずきました。目の前に男の人の固くなったペニスがあります。気付いたときにそのペニスに口づけをしていました。男の人からお願いされたわけでもないのに、私は自発的に男の人のちんぽにキスをして舐め始めていたのです。元々そんなことまでするつもりはなかったはずなのに、いつの間にかそうなっていました。

ちゅっ、ちゅっと音を立てて男の人のペニスにキスをし、舌を出して竿、そして先端の亀頭を舐めました。もちろんフェラチオをするのは初めてでしたが、特に嫌悪感はなく、熱に浮かされたようなぼーっとした気分でその行為を続けました。男の人は私を見下ろしながら荒い息を吐いていました。そして、やはり男の人から指示されたわけでもないのに、私はペニスを口に含んで咥えました。ここに来る前にシャワーを浴びてきたのか、男の人のペニスは特に嫌な味はしませ

んでした。強いて言えば少ししょっぱい程度で、ほぼ無味に近い感じでした。私は口に含んだ男の人のペニスに舌を絡めて舐めながら、顔を前後させてじゅぼじゅぼとフェラチオをしました。それをしながら、私はしゃがんだ状態でショーツを半脱ぎにして自分のペニスをしごきました。私のペニスはガチガチに固くなっており、先っぽに透明な先走りが浮かんでいました。

私が男の人のちんぽを咥えていたのは 5〜6 分だったと思います。私がじゅぼじゅぼと音を立ててフェラチオをしていると、やがて彼は私の頭を掴んで腰を動かし始めました。喉奥に少し当たるくらいの強さで、私は軽くえずきましたが、その動きは長くは続きませんでした。彼は「ううっ…！」と小さく呻くと、私の口の中のペニスがびくびくと動くのがわかりました。そのとき、彼は私の口内に射精したのだと思いますが、正直、出されたザーメンの感触は特に感じませんでした。慣れないフェラチオのせいで口は唾液がいっぱいに溢れており、ザーメンなのか唾液なのかわからないドロドロの状態になっていました。

射精し終えた男の人がペニスを抜くと、私は口の中のドロドロをトイレの個室の床に吐き出しました。目を落とすと私のペニスはぴくぴくと震え、まだ勃起した状態でした。

ザーメンを出した後、男の人は個室のトイレットペーパーで手早く自分のモノを拭き、スウェットを履くと個室の外の様子を伺い、誰もいないことを確認する

とトイレを出ていきました。その間、私には一言も声をかけませんでした。私は彼が一時的に外に出ただけで、戻ってくるかもしれないと思ってしばらく一人でトイレの個室の中にとどまっていましたが、彼はそのまま立ち去ったようでした。まったくの無言で、私に何の挨拶もなくいなくなったということです。私は経験がなかったのでハッテンってそういうものなのかと思いました。

私は個室から出てトイレの手洗い場で口をゆすぎ、帰宅しました。これが私の最初のハッテン行為の一部始終です。

